

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくキッズ			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日 ～ 2026年 1月 16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ～ 2026年 1月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・子どもの満足度の高さ	保護者との面談や個別相談を定期的を実施し、日々の成長や課題を共有している。 その日にあったことを、口頭で説明をしている。	保護者向けの学習会やペアレント・トレーニングを必要に応じて開催し、家庭との連携を強化。
2	支援内容の多様化・柔軟性の向上	活動内容や教材を日々工夫し、子どもが意欲的に参加できるように調整している。 集団活動と個別活動のバランスを意識し、子どもの興味や発達段階に応じて活動を選択できるようにしている。	発達特性に応じた新しい療育プログラムや教材の導入を検討。 子どもが自ら選択・発言できる機会をさらに増やし、主体性を促す支援を強化。
3	個別支援・療育内容	利用児の発達状況や特性に応じて個別支援計画を作成し、定期的に見直している。 個別の課題や強みを踏まえて、日常生活や活動での支援方法を工夫している。	個別活動と集団活動の連携を強化し、社会性や協調性の育成にもつなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価やペアレント・トレーニングの未実施	導入方法や実施の具体的な手順について明確な体制が整っていない。	保護者向けトレーニングを少人数・短時間から開始し、参加しやすい環境を整備。
2	職員同士の振り返り・連携の制約	情報共有の仕組みが限定的で、各職員が個別に判断する場面が多い。 出勤時間が短い、遅い職員との連携が取りづらい。	週単位や月単位での振り返り会議を定期的に設定し、業務スケジュールに組み込む。 短時間で実施可能な振り返りミーティングや記録共有システムの導入
3	研修や情報共有の機会の限界	新しい療育手法や支援技術の導入に向けた計画が十分に整っていない。 業務多忙により外部研修への参加や内部研修の時間確保が最低限になっている。	短時間で参加可能なオンライン研修やeラーニングの活用。 年度ごとに研修計画を策定し、業務スケジュールに組み込み、継続的に学びを定着させる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すくすくキッズ

公表日 2026年 2月 13日

利用児童数 12

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		1	・子どもが「キッズは狭い」と言っている。	・限られた空間での活動を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1	・いつもきれいで安心できます。 ・とても清潔だと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1			・専門の先生がいたりするので、本当に有難いと思います。 ・偏食への対応や、目で分かる説明等、子どもに合わせて支援していただいています。	・今後も、子ども1人ひとりに合わせた支援ができるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2	・専門的支援実施計画書による、向上させる課題の活動内容を実施されているのか知りたいです。 ・色々な先生が活動してくれています。行事に合った活動もしてくれて、助かります。	・見学時に伝えたり、モニタリング時にFBしたりしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11			1	・こども園と連携して支援してもらえることがとても心強いです。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				・丁寧に説明してもらいました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	2	4	・研修会は分らないが、月1回の面談で十分できているのかなと思います。	・ペアレント・トレーニングについては、現在実施しておりません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・毎日その日の様子を伝えて頂いて、感謝しています。 ・お迎え時に、1日の子どもの様子を良い事出来なかった事、教えてもらえます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・できない事なども、はっきり伝えてもらえるので、自宅でも声かけしやすいです。 ・家での困り事は一緒になって考えてくれ、「声を掛けてみますね。」と言ってくれます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・どの先生も信頼できる素晴らしい方たちです。息子も懐いており、いつもありがとうございます。 ・子どもの成長と一緒に喜んでくれる先生が多くて、嬉しいです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	3	・働いているご両親が多いと思うので、私自身も参加するのが難しいかなと思います。	・必要があれば、今後実施を考えていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・前回のアンケートで記入したその日の様子など、とても丁寧かつ迅速に対応していただき、感謝しています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・困りごとや、してほしい事などを伝え ると、すぐに対応して頂き、報告もある ので助かっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。	6	2	3	1	・分かりやすく丁寧だと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1	・防犯に関しては、他で聞く施設より、 しっかりされていて安心しています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	8	1	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				・少しの怪我も伝えて頂き、ありがとう ございます。 ・いつも細かく説明をしてくれます。	・今後も、事故や怪我等の報告は、続け ていきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				・「先生大好き！」とよく言っているので、かわ いがってもらえているんだなと感じます。 ・先生たちに言いたい事を言えるようになりまし た。安心しているんだと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・毎日楽しく通えており、大変感謝して おります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・毎日ありがとうございます。遅らせていただいて、御礼があり ません。あと1年少しですが、引き続きよろしくお願いたしま す。 ・子どもはもちろん、職の私も一緒に子育てをしてもらっているよ うなやりがいがあり、とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すくすくキッズ		2026年 2月 13日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		心地よく過ごせる環境だが、活動内容を空間に合わせる必要がある。 個別指導時にプログラムによって危険なことがあるので、机の移動等は必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議で意見を聞き、話し合う機会を取り入れている。 ミーティングで把握する機械はある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	職員に研修参加の機会を作っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	PC上で確認できるようになっている。また、ミーティングで話をする機械もある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		時間がなくて確認出来ていないところもあるので、時間を設ける必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		個々で行っているので、全体で共有ができると良い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		1か月分のプログラムが表で確認ができるようになっている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		役割分担が明確になっていないので、決めていけると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		振り返りを行う時間を設けられるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		こども園の職員と話をする機会は多く、すぐに相談ができる体制は整っていると思う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		その日の様子を保護者に話すようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談等で行えていると思う。必要な時にも保護者に声を掛けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に家族支援を行い、面談や助言・支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			研修や訓練が少ないので、実施していけると良い。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ミーティングで報告する機会がある。また、PC上でも確認ができる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			